

西 目 屋

工事現場作業
 中学生が体験

津軽ダム

若い世代に建築業に興味を持ってもらうようと、国土交通省東北地方整備局と東北建設業青年会が18日、中学生対象の体験型現場学習会を西目屋村の津軽ダム工事現場で開き、西目屋中学校の生徒17人がコンクリートプレートの作りと測量を体験した。

東北6県で行われている「体験型現場学習



作ったコンクリートを型枠に流し込む生徒

会」の一環で、これまででは高校生や大学生が対象だったが、今年から中学生対象の学習会を企画、東北管内で今回初めて開かれた。生徒らは2班に分かれてそれぞれ作業を体験。プレート作りでは、国土交通省津軽ダム工事事務所の職員らのアドバイスを受けながらセメントや砂、水などをスコップで練ってコ

ンクリートを作った。慣れない作業に悪戦苦闘しながらも、型枠に流し込んだコンクリートの上面をこてで平らに仕上げた。

1年生の坂田つくしさん(12)は「砂などが重くていつも作業している人はすごいと思った。こてを使うところが楽しかった」と話した。(秋村有香)